

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 いるか教室			
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日 ～ 令和7年12月23日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和7年12月12日 ～ 令和7年12月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢または発達年齢に応じて、小集団活動と個別活動を組み合わせた療育を行っている。（基本的には、年少以下の児は小集団活動中心の療育、年中以上の児は小集団活動と個別活動を組み合わせた療育）	小集団活動では、年間を通して様々な活動（運動遊び、感覚・感覚遊び、制作など）を設定し、遊びの中で経験を広げるとともに人との関わり方を支援している。個別活動では、「大人に注目してもらいながらやりとりをする」、「できたことで達成感を味わう」、「褒められることを実感する」、「ちょっと苦手なことでも頑張ってみる」などをねらいとして、個々の状況に合わせて楽しく取り組めるよう内容を工夫している。	保護者に分かりやすく説明できるよう、さらに専門性を高めていく。
2	保護者が子どもと一緒に活動したり、見守ることで、保護者が子どもの現状や成長をを直接確認できる。	保護者が一緒に行う活動、見守る活動を子どもの状況に応じて設定するようにしている。	
3	保護者の日々の困り事や育児に関する相談がすぐにできる。	保護者の要望があれば、通所日以外での面談の機会を設けている。併せて、連絡帳での相談にも対応している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページでの情報発信が十分にできていない。	法人事務局に任せきりになってしまっていることが要因と思われる。	事業所内でも内容等を検討し、更新をしていく。
2	事業所内が狭いこと。	教材等の収納場所がなく、余計に活動場所が狭くなっている。	事業所が今の環境のままで良いのか、移転等が必要なのか法人事務局や盛岡ひまわり学園とも協議を進めていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 いるか教室

公表日 令和 8 年 3 月 30 日

利用児童数 令和 7 年 12 月 25 日 回収数 29人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	4		5	・子どもの人数が多くなると手狭に感じることがあります。 ・子ども4人のスペースとしては、狭いと感じます。 ・運動系の活動を行うには十分ではないと感じる。 ・体を動かすプログラムの実施に対しては、少し狭いのではと感じる。 ・運動する時でも十分なスペース確保されていると思います。 ・建物自体が広いわけではありませんが、工夫して頂き最大限広く使えています。 ・トイレの数とトイレの鍵はちょっと改善出来たらな、と思いました。	・狭めの空間ではありますが、活動の設定や教材の収納など現在の環境の中で、今後も引き続き工夫して行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1			・子どもの様子もしっかり見て頂き、私がお話する時間もしっかりとあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	7			・ホワイトボードに今日の予定や順番が書いてあって、子どもにも分かりやすいです。	・現在利用の方々には、あまり問題なく過ごしていただいていると思いますが、建物的にバリアフリーの作りにはなっていません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	3			・活動スペースの他にも洗面やトイレなどもきれいです。 ・体を動かすプログラムの実施に対しては、少し狭いのではと感じる。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29				・個別学習の時間も毎週いろいろな課題を準備して頂いています。 ・困りごとにも子どもの性格を踏まえたうえでのアドバイスをいただくことができ、助かっています。 ・花まるぐらいます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			1	・ホームページを確認しましたが、あっていると思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28			1	・子どもの特性や私の希望を踏まえて作成して頂いています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29				・適切に設定されていると思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29				・子どもの特性や発達に合った支援が受けられています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2		1	・毎週いろいろな活動があつて楽しみです。 ・毎回様々な活動を用意してくださり、たくさん刺激があつたと思います。 ・絵本がけっこう同じものが回ってきていて固定化されているようにも感じることもある。	・絵本の読み聞かせについては、好きなもの、興味のある題材のものを繰り返し読むことでの安心感や次の話の流れを予測したりと同じものを見る事でも発見があり、それも大事にしています。子どもさんの様子に合わせた題材を選び、常に様子を感じ取りながら、支援にあたっていきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	6	8	・通園している保育園とは連携して頂いています。 ・教室外での活動は特になかったように思います。 ・いるか教室を通した地域や園との交流はなかったです。 ・1か月に一度連絡シートを保育園に見せるようにしています。その他の交流は把握していません。	・いるか教室には、週に1回の通所で、皆さんそれぞれの園に通園されています。利用の時間や活動の目的等のことから地域の幼稚園や保育園との交流は行っていません。 ・各々通っている園とは情報交換など連携を取らせて頂くこともあります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29				・すべて説明して頂きました。	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29				・しっかり説明して頂きました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	2		3	・保護者学習会に参加させて頂きました。 ・今のところ事業所の通所のみで満足しているので、提供を特段に求めています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29				・毎週しっかりお話しできていると思います。 ・いつも相談にのって頂いて、本当にありがとうございます。 ・息子の状況に合わせて、声かけの工夫を提案して頂いているので温かいサポートに支えられています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29				・いつも自由遊びの時間に相談させて頂いています。 ・母が付き添いでできず、しかし、ノートに丁寧にコメントを書いてくださりとても助かっています。 ・要望に応じた面談の機会を設けて下さいました。 ・困った時や迷った時、先生方がいつも丁寧に寄り添ってくださり、本当に感謝しております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29				・困りごと、悩みごとなど相談できて助かっています。 ・いつも優しく、温かく声をかけていただき、ありがとうございます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	6	6	9	・保護者会の開催は聞いたことがないですが、通所の度にお話はしっかり聞いていただいているので、家庭支援については満足です。 ・保護者同士の交流の機会はなかったと思います。 ・発達がゆっくりな故に悩みもある。先生方の助言もとても嬉しいが、他の親御さんがどんなふうにも毎日を過ごしているか知りたいと思うことがある。 ・特に開催して欲しいという希望はないので、このままで良いです。	・教室主催の学習会で就学を迎える年長児の保護者の方々を対象に先輩保護者の方にお話をさせていただきました。 ・保護者が一緒に参加して頂いている教室なので、保護者会は設けていません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27			2	・相談対してのアドバイスなども丁寧に適切に対応して頂いています。・相談事に対し、迅速に回答や対策を取って頂き感謝しています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1		1	・先生方の間で情報共有もして頂けると思います。 ・先生方はたくさん配慮して下さいます。どうしても子どもに聞こえる所で子どもの発達について話がしづらいので、連絡帳でのやり取りになってしまうことが多いです。	・保護者の要望があれば、療育時間以外でも面談時間を設けています。療育中の面談では不都合がある場合はには申し出ていただくよう再度お伝えしていきます。
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	6	3	4	・ホームページで発信されています。 ・マチコミというアプリはありますが、機能してないような・・・。	・マチコアプリをご利用いただいておりますが、教室は保護者同伴での参加なのでご利用の際にお伝え出来ることが多いので、感染症の流行等での急を要すること以外の発信はない状況です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			1	・発達の検査結果などお渡しすることもあります。・しっかり保管して頂いています。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	3		1	・避難訓練をやったことがあります。	・マニュアル等を設置していることを契約時や年度初め等にも今後周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	3		2	・避難訓練をやったことがあります。	・月に一度避難訓練を実施しています。通所日と訓練の日が合わないこともあるので、今年度は避難訓練習慣を設けて実施しました。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2		1	・お友だち同士で遊ぶ時もトラブル等にならないように見ていただいています。	

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	4		4	・事故等のトラブルはほとんどありませんが、何かあった時は説明して頂いています。 ・教室内でもリラックスできています。 ・いるか教室が大好きです。 ・通うことで安心感や子どもの成長を感じられています。	・保護者同伴の事業所なので速やかに対応しています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29				・毎週とても楽しみにしています。（私も） ・毎週の通所をととても楽しみにしています。親としてもその時々々の困り事を相談したり、共有できる場があるのは、とても心強いです。いつも本当にありがとうございます。 ・毎週通所することをとても楽しみにしています。 ・最近先生方にハグしたりと安心感を持って来れていると思います。 ・いるか教室大好きです。 ・親子共に毎週の通所を楽しみにしています。 ・子どもはとても楽しみにしており、通所してから大きく成長していると感じます。通って良かったと思います。 ・毎週通うのを楽しみにしている様子です。親もいろいろ勉強させて頂いています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29				・大満足です。 ・いつも本当にありがとうございます。 ・保護者の相談にもアドバイスいただけて支援に大変感謝しています。 ・子どもだけでなく両親の支援もしていただき、ありがとうございます。 ・子どもの言動を理解できるようになり生活しやすくなった。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援事業所 いるか教室		令和 8 年 3 月 30 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		部屋は狭い方だが、午前と午後に利用者を分けて療育している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		狭めの空間ではあるが、活動の設定等、現在の環境の中での工夫して行っている。	建物の状況を確認しつつ、移転等についても法人本部を交え検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		清潔を保つように日頃から心がけている。危険な個所がないように点検をしている。	エアコンや暖房器具など設備の状況を確認しながら、心地よく過ごせるよう引き続き配慮していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		限られた環境ではあるが、主に活動する部屋の隣の部屋に行き来できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者向け評価表の実施の他、年度末にアンケートを実施し、保護者の意向等を確認し改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		職員会議などで意見を出し合う機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		現在第三者による外部評価は受けていない。将来の受審に向けて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		外部の研修受講や法人内の研修の受講の機会が設けられている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			内容については、より深めたものを掲載できるよう検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童発達支援計画については、職員全員で確認し合っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		年間プログラムを基にしながらも、参加児童の状況に合わせてプログラムを設定している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		小集団活動を中心としているが、年齢により個別活動も組み入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		療育開始前に活動内容や流れの確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		療育終了後に参加児童の様子の確認など振り返りを行い、情報交換を行い次にいかせる様になっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		利用児童の所属園や他事業所、盛岡市保健所、教育委員会などと連携をとりながら支援にあたっている、	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		保護者からの要望がある場合は、情報提供を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3		児童発達支援センター盛岡ひまわり学園と連携を取っている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3	全員が幼稚園、保育園と並行通所しているため、交流の場は設けていない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		保護者同伴の事業所であるため、活動中や連絡シート等で常に確認し合っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		ペアトレとして実施していないが、職員が家庭支援プログラム等を活用した取り組みを保護者に提供している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		毎回保護者と話をする時間を設け、必要な助言等を行っている。保護者の要望で通所時以外での面談も行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		保護者会は組織していない。教室主催の学習会を行い、集まりや交流の機会となっている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		掲示板で情報を発信している。マチコミメールを利用している。	HPについては、常により良い発信ができるように検討、更新を続けていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	地域の住民を招待するような行事は行っていない。見学依頼があれば対応している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		掲示物やファイル等で確認できるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		避難訓練を毎月行っている。また、なるべく皆さんが避難訓練を体験できるように避難訓練週間を設けた。	利用者によっては、通所日と避難訓練の日が合わず訓練に参加できないことがあるため、引き続き契約時や新年度の説明を徹底していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		3	食事やおやつを提供はしていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		そのつど対応を確認し必要に応じ、改善している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			